

4月13日に東京パラリンピック支援チャリティーセミナーを開催する予定です。
柔道整復師 卒後教育 筋骨研・超研コラボ チャリティーセミナー
「柔整師必見！足関節捻挫診断から治療まで」

日時：平成26年4月13日(日)午前9:00-17:00
場所：名古屋大学医学部講義室
参加費：一般 5,000円， 学生 3,000円
対象：卒後3年未満の柔道整復師および学生

■講師

近藤 英隆(若田接骨院院長、超音波機能解剖研究会会長)
堀 智秋(伊賀接骨院院長、超音波機能解剖研究会副会長)
安井正佐也(名古屋大学大学院医学系研究科機能組織学分野、筋骨格系疼痛研究会代表)
林 功栄(からだの痛み・しびれ研究所所長、筋骨格系疼痛研究会副代表)

■開催趣旨

本セミナーは卒後間もない柔道整復師対象のチャリティーセミナーです。筋骨格系疼痛研究会と超音波機能解剖研究会のコラボにより、柔道整復師が、卒業後どのように勉強していくべきなのか？今回は、それぞれの研究会の内容をリンクさせ、学校ではなかなか教えてくれない、臨床の現場に必要な知識と技術である、①体表解剖と組織触察法、②超音波画像観察法の実際、③患者の痛みの正しい理解、④整復固定の実際について基礎医学的なお話をさせていただきます。また、セミナー収益の一部を公益財団法人日本障害者スポーツ協会(東京パラリンピック委員会)へ寄付をさせていただきます。後日HP上でご報告させていただきます。

■詳細

午前の部：足関節の触診実技と超音波実習(超研)
午後の部：足関節捻挫の治療法講義(固定から手技療法まで)(筋骨研)
討論会：これからの卒後研修のあり方を考える

お問い合わせは「筋骨格系疼痛研究会」まで
<http://www.kinhone.jp/>